

# Case Report

Conformity™ StemとUDM™ Cupの使用経験

独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院  
整形外科 医長

**松本 幹生** 先生

## ◆ 略歴

2005年 順天堂大学整形外科入局  
2006年 中伊豆温泉病院 整形外科 医員  
2006年 順天堂大学東京江東高齢者医療センター 助手  
2008年 多摩南部地域病院 整形外科 医員  
2011年 東京臨海病院 整形外科 医員  
2013年 順天堂大学整形外科 助手  
2017年 順天堂大学 医学博士学位授与  
2017年 東京臨海病院整形外科 医員  
2018年 東京臨海病院整形外科 医長  
2025年 順天堂大学整形外科 非常勤講師



## 製品紹介

# Conformity™ Stem

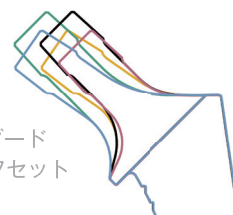
## Femoral Hip System



### ◆ 5 Neck Option

- 5種類のネックラインナップを持ったFull HA coated stem  
より多くの患者の解剖に適応し、股関節構造を再建

- スタンダード
- ハイオフセット
- Coxa Vara スタンダード
- Coxa Vara ハイオフセット
- ショートネック



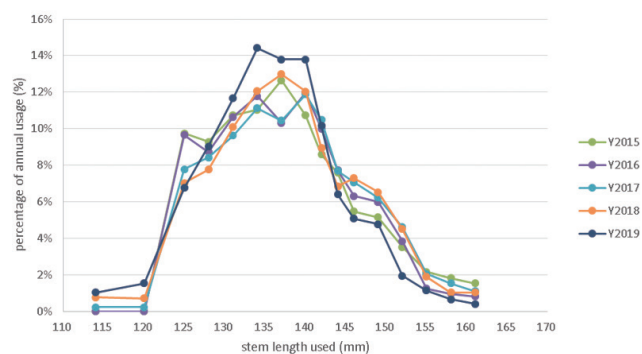
### ◆ HAコーティング

- 臨床的に証明された片側155 $\mu$ mのHAコーティングを採用。  
厚いHAは温存された海綿骨層との早期のオッセオインテグレーションが期待される

HAコーティング(155 $\mu$ m)

### ◆ リーズナブルなステム長

- United Orthopedic社のWedge Taper型  
ステムUTF Reduced stemの販売経験から、  
臨床で必要とされるステム長(115 ~ 160mm)を  
エビデンスとして設定



### ◆ セメントステムオプション

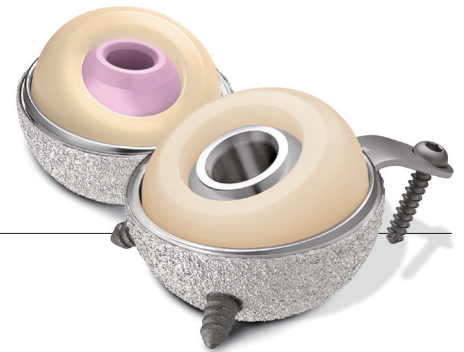
- セメントレスステムを十分な固定が得られない場合、  
同一のブローチでセメントステムを使用することが可能



## 製品紹介

# UDM<sup>TM</sup>

## Mobile Bearing Hip System



### ◆ 複数のカップバリエーション

- ・ 42mm ～ 62mmまでのPress-fit・Peg-fixedのカップ構成

### ◆ Peg-fixedカップ

- ・ 補助的なペグとスクリューにより、回旋防止機能を高め、更なる安定性を獲得

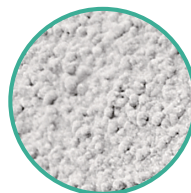


### ◆ カップ/モバイルライナーカップリング

- ・ カップ外径に対し、-6mmのモバイルライナーが使用可能

### ◆ TPS PLUS + HAコーティング

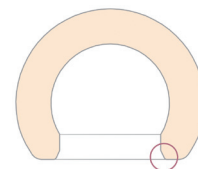
- ・ 特殊なチタンプラズマスプレー PLUS (TPS PLUS)コーティング技術により、コーティングの粗さ(Ra)を大幅に向上
- ・ コーティングされたHAは海綿骨とのオッセオインテグレーションを促進



カップサイズ (外径、mm)	ライナーサイズ (外径、mm)	ヘッドサイズ (mm)	
42	36	22	
44	38		
46	40		28
48	42		
50	44		
52	46		
54	48		
56	50		
58	52		
60	54		
62	56		

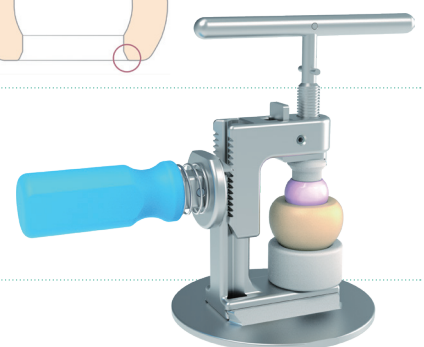
### ◆ E-XPEポリエチレンライナー

- ・ 摩耗耐性、機械的強度、酸化安定性を向上
- ・ リム部分を面取りし、ストレス集中と摩耗を低減



### ◆ モバイルライナーとインナーヘッドの組み立て

- ・ インナーヘッドとモバイルライナーの容易な組み立て





## 症例紹介

●  
症例1 70歳男性

## 【現病歴】

4年前から左股関節痛を自覚し近医受診。左変形性股関節症の診断で手術目的に当院へ紹介された。当院初診時、高度な跛行を認め、trendelenburg歩行を呈していた。X線上末期左変形性股関節症を認めた。左股関節可動域は、屈曲80° 伸展-10 外転0 内転10 内旋0 外旋0 と高度な拘縮を認めていた。既往歴：高血圧、肺血管腫

## 【治療経過】

硬膜外麻酔併用全身麻酔下に特殊牽引台を用いたDirect Anterior Approachで左人工股関節全置換術を施行。手術時間：89分 出血量：200ml

## 【インプラント】

United Orthopedic社製

Cup	UDM Press-fit Cup 54mm O.D.
Inner Head	28mm Dia. -3mm Neck Length
Mobile Liner	E-XPE Mobile Liner 48mm O.D.
Stem	Conformity #6 High Offset Collared Stem

術前

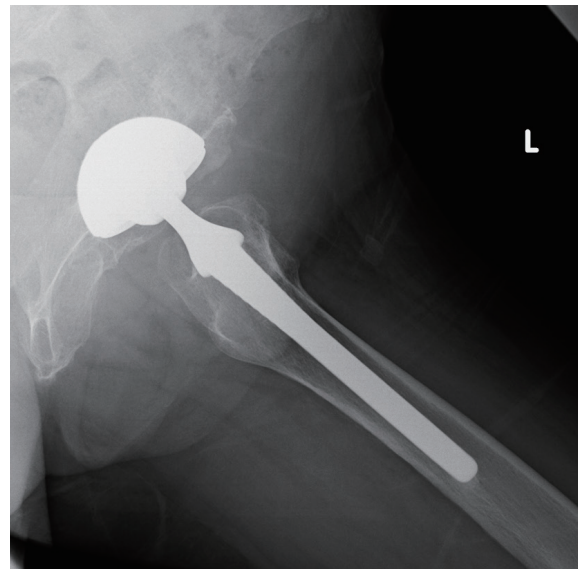
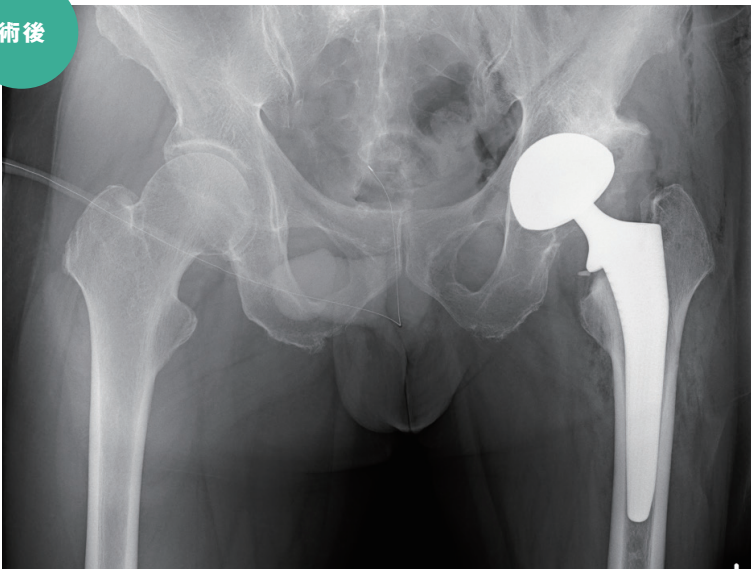


**【術中所見・術後経過】**

術前脚長差があまりなく、左股関節拘縮が高度であり一定程度の軟部組織の剥離を要することが予想された。そのため易脱臼性や脚長差の補正に対して有利なUDM Mobile Bearing Hip Systemを使用した。術中は臼蓋前方と下縁の骨棘の切除を行い、透視下に原臼位にreamingしcupをpress fitさせた。大腿骨側は挙上が困難であり、関節包周囲の広範な剥離をおこなった。stemはcollarが一部内側皮質に接したところでpress fitを得た。透視下に脚長差もなく、offsetも良好であることを確認した。cup前外側から後外側にreaming boneと骨頭から得た骨をtip状にして骨移植をおこなった。局所麻酔、副腎皮質ステロイドを関節周囲カクテル注射として使用し手術終了とした。

術後は翌日より荷重、ROMは制限なくリハビリテーションを開始した。同日には歩行器歩行が可能であり、自覚的脚長差はなかった。術後15日で退院し、その後も紹介元で可動域訓練、歩行訓練を継続し、術後1年でX線上移植骨の癒合を確認した。術後2年で屈曲100° 伸展0 外転20 内転20 内旋20 外旋20 と改善し、ADLは問題なく生活している。

術後



## 症例紹介

●  
症例2 69歳女性

## 【現病歴】

11年前に第12胸椎圧迫骨折の既往あり。5年前より右股関節痛、腰痛が増強し当院紹介受診。X線上、右変形性股関節症、脊柱後側弯症を認め、まず二期的に側弯症変形矯正を行った。一時的に右股関節痛の改善が見られたが再燃し1年3か月後に右人工股関節全置換術を行なった。

既往歴 顔面肩甲帯型筋ジストロフィー 高血圧症

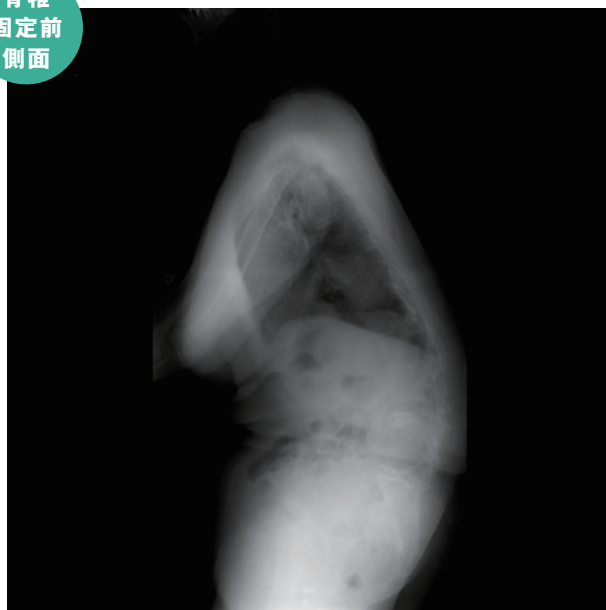
## 【治療経過】

硬膜外麻酔併用全身麻酔下に特殊牽引台を用いたDirect Anterior Approachで右人工股関節全置換術を施行。手術時間 90分 出血量 150ml

## 【インプラント】

United Orthopedic社製

Cup	UDM Press-fit Cup 48mm O.D.
Inner Head	28mm Dia. -3mm Neck Length
Mobile Liner	E-XPE Mobile Liner 42mm O.D.
Stem	Conformity #4 Standard Offset Collared Stem

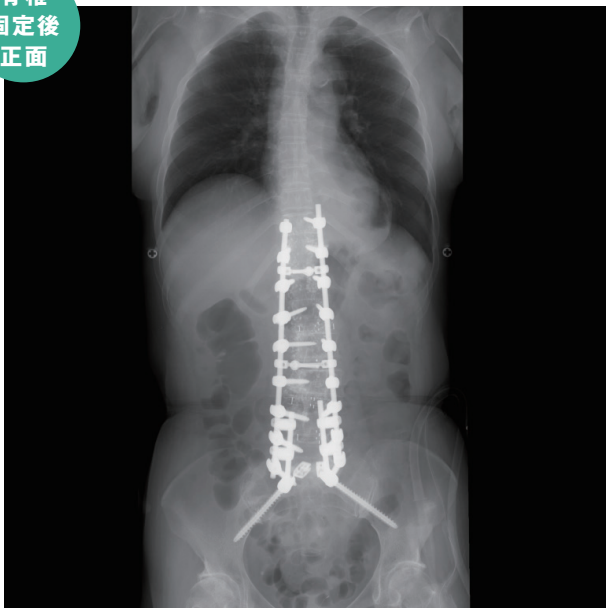
脊椎  
固定前  
正面脊椎  
固定前  
側面

**【術中所見・術後経過】**

広範囲の脊椎固定術後であり、骨盤の可動性については腰椎の代償がなく、易脱臼性になることが予想されたためUDM Mobile Bearing Hip Systemを使用した。術中はcupの設置については前方開角が大きくなるよう配慮した。大腿骨側は挙上が困難であり、関節包周囲の広範な剥離をおこなった。その影響もあり安定性を得るにはわずかに脚長を長くする必要があった。局所麻酔、副腎皮質ステロイドを関節周囲カクテル注射として使用し手術終了とした。

術後は翌日より荷重、自覚的脚長差があったが歩行は問題なく可能であった。術後15日で退院したが、脊椎の代償がないため自覚的脚長差が改善することはなく経過した。疼痛、可動域は改善し独歩可能となり問題なく経過している。

脊椎  
固定後  
正面



脊椎  
固定後  
側面

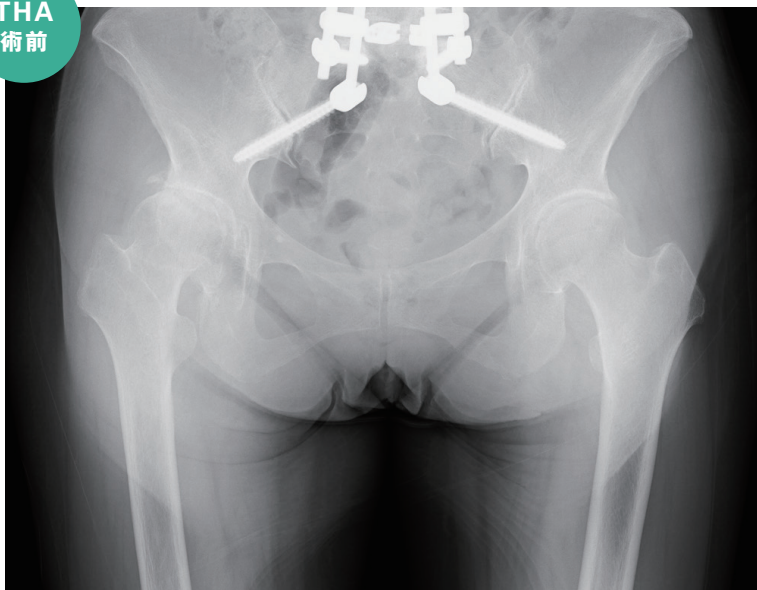




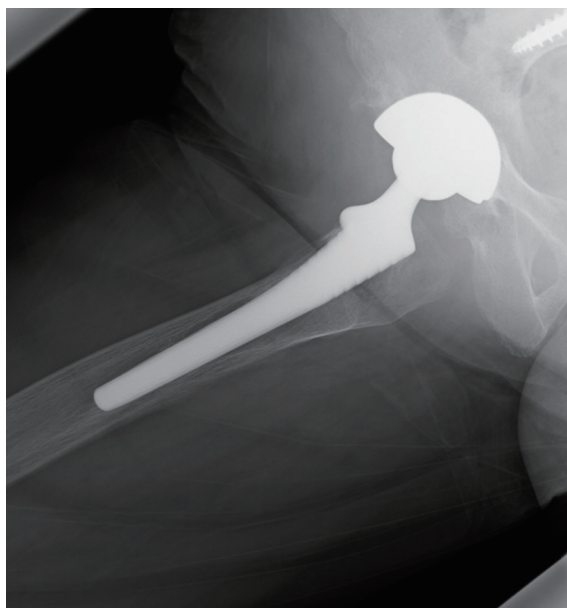
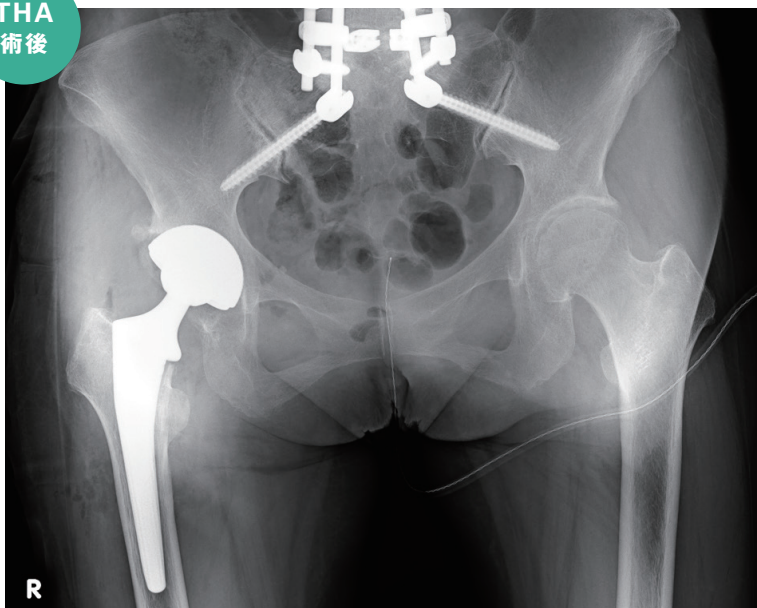
症例紹介

●  
**症例2 69歳女性**

THA  
術前



THA  
術後





## 【UDM Cupの臨床使用によるメリットとPit & Fall】

### ・メリット

大腿骨頸部骨折や神経筋疾患などの易脱臼性のある患者さんに対して、メタルライナーを利用するDual mobility systemよりも骨頭径が大きくJumping distanceを保てるため、脱臼抵抗性を向上できる。

### ・Pit & Fall

カップ把持器にオフセットがついており挿入しやすいが、最後まで挿入が難しい事がある。その場合はある程度入ったところでカップを一旦把持器から外して、カップの中央を叩打する事で挿入可能となる。前方開角や外方開角の微調整はカップの辺縁を愛護的に叩打する事で調整が可能である。微調整後は再度カップの中央を叩くことでpress fitが得られやすい。



Each Step  
We Care







©2025 United Orthopedic Japan inc.

◆ 製造販売元

ユナイテッド・オーソペディック・ジャパン株式会社  
〒220-0012  
神奈川県横浜市西区みなとみらい5-1-2  
横浜シンフォステージ ウェストタワー 10階  
TEL 045-620-0741 FAX 045-620-0742

◆ 販売店



CR202505(2)R0